

平成 24 年 12 月 3 日

長岡市教育委員会（定例会）会議録

長岡市教育委員会

1 日 時 平成 24 年 12 月 3 日 (月曜日)

午前 9 時 15 分から午前 10 時 50 分まで

2 場 所 教育委員会会議室

3 出席委員

委員長 大橋 岑生 委 員 羽賀 友信 委 員 中村 美和
委 員 青柳 由美子 教育長 加藤 孝博

4 職務のため出席した者

教育部長	佐藤 伸吉	子育て支援部長	矢沢 康子
教育総務課長	若月 和浩	教育施設課長	安部 和則
学務課長	近藤 知彦	学校教育課長	田中 仁
子ども家庭課長	佐藤 正高	保育課長	栗林 洋子
中央公民館長	武樋 正隆	中央図書館長	品田 満
科学博物館	山屋 茂人	学校教育課主幹兼管理指導主事	関谷 祐二
学校教育課主幹兼管理指導主事	大矢 慎一	学校教育課主幹兼管理指導主事	山田 修

5 事務のため出席した者

教育総務課長補佐	新沢 達史	教育総務課庶務係長	水内 智憲
教育総務課庶務係	小川 瑞穂		

6 議事日程

日程	議案番号	案 件
1		会議録署名委員について
2	第 58 号	平成 25 年度当初予算の要求について

7 会議の経過

(大橋委員長) これより教育委員会 12 月定例会を開会する。

日程第 1 会議録署名委員について

(大橋委員長) 日程第 1 会議録署名委員の指名を行う。会議録署名委員については、会議規則第 44 条第 2 項の規定により、羽賀委員及び青柳委員を指名する。

日程第 2 議案第 58 号 平成 25 年度当初予算の要求について

(大橋委員長) 日程第 2 議案第 58 号 平成 25 年度当初予算の要求について を議題とする。事務局の説明を求める。

(佐藤教育部長、矢沢子育て支援部長) 【議案書に基づき説明】

(大橋委員長) それでは、「第 1 章 生涯健やかで、いきいきと暮らせるまちの実現」の説明をお願いします。

(佐藤子ども家庭課長、栗林保育課長) 【議案書に基づき説明】

(大橋委員長) 質疑、意見はないか。

(青柳委員) 児童クラブ運営事業で上組第二児童クラブを新設するようだが既存の児童クラブは存続したままなのか。また、新設理由が児童数が多く既存の児童クラブが学校から離れているからとのことだが、児童が通う場合、区分は家を根拠地として分けるのか。

(佐藤子ども家庭課長) 既存の児童クラブは存続したままである。今後児童クラブの運用によるが、現在のところは住所で分けてみようという試みである。

(青柳委員) 児童クラブが一つ増えたという解釈でよいか。

(佐藤子ども家庭課長) そうである。

(青柳委員) 妊産婦の産前産後時の家事・育児を応援する事業については、長岡市に転入して来た人を対象にしているのか、既に居住している人を対象にしているのか。

(佐藤子ども家庭課長) 両方とも対象としている。

(青柳委員) 家事、育児の支援をしてくれる団体はどこか。

(佐藤子ども家庭課長) 事前に長岡市に登録してもらっている団体をお願いしている。主に、育児関係は長岡市助産師会、小千谷市助産師会、家事援助関係はシルバー人材センターである。利用券に登録事業所を記載し、子育て支援ガイドにも記載している。

(青柳委員) 母子だけで暮らしている方だけでなく、家族がいてもお金を払えば対象になるのか。

(佐藤子ども家庭課長) 対象になる。

(中村委員) 子どもの養育に関する不安や悩みの相談や児童虐待防止への支援の中のストレスマネジメント講座とはどういうものか。

(佐藤子ども家庭課長) 子育てのストレスを自分自身でマネジメントできるようなコツ、怒らない方法、ストレス発散法等を子ども家庭センターを中心に講師を招き指導している。

(中村委員) 講師は誰か。

(佐藤子ども家庭課長) 最近はずっと南雲陽子さんという方をお願いしている。もともと長岡市にも縁があり、県内で講師をされている方である。

(大橋委員長) 児童クラブ運営事業約1千万円の減額の理由はなぜか。

(佐藤子ども家庭課長) 黒条第二児童クラブが平成24年4月に開設し、初期施設設備関係経費が抑えられたため、平成25年度は減額となった。

(大橋委員長) 運営事業としては変わらないという受け止めでよいか。

(佐藤子ども家庭課長) そうである。

(大橋委員長) 児童手当事業で、支給対象児童数が大きく変化したのか、手当が減額になったのか、かなり高額な1億6千万円の減額となる理由を聞きたい。

(佐藤子ども家庭課長) 平成 24 年度から正式に子ども手当から児童手当に変わった。児童手当は、所得制限を加味していて、平成 24 年度は 2 %の方が所得制限に該当し、一人当たり 1 万円を 5 千円に減額するとみていたが、実際は 3.1%が所得制限に該当し支給額が減った。全体が 45 億円から 47 億円程度の規模なので 1 %でも高額となる。あとは児童数の減少のためで制度的な変化はない。

(大橋委員長) 子育てを支援するサービスの拡充事業がそれぞれ規模は大きくないがほとんど減額の理由を知りたい。落ち着いているのか、良い形で機能しているからなのか。

(佐藤子ども家庭課長) 産前産後家庭生活応援事業は制度を変えずに実績に基づき減額した。毎月 100 件の実績があったが、予算では毎月 140 件を見込んでいた。25 年度は毎月 130 件に絞っても大丈夫ではないかということで減額した。

(栗林保育課長) 一時保育事業、地域子育て支援センター事業は 24 年度の見込み額と実績とを比較すると 25 年度は減額しても大丈夫であろうということで減額した。

(羽賀委員) 子育ての駅ちびっこ広場運営事業の駐車場の 1 時間無料化は、今までは無料でなかったのか。

(佐藤子ども家庭課長) 大手通地下駐車場、表町駐車場はあるが、無料化はしていなかった。

(羽賀委員) 見通しとしてどうか。

(佐藤子ども家庭課長) 今までの利用に見合った算定をしているが、ちびっこ広場については徒歩で来る方も結構いるので適正に予算化している。

(加藤教育長) 次世代育成支援対策行動計画推進事業が前年度予算と比べると 10 倍の予算増であり、新たな計画策定のためのニーズ調査のようだが、これは役所特有のやり方ではないか。計画を作るたびにニーズ調査をしなければならないのか。今までの期間でどのくらいの市民、保護者、子ども、子育て中の人意見を吸い上げているのか。そっくり業者丸投げでやってはいないか。担当課が 500 万円かけて本当に知りたいニーズを調査するのであればよいが、どこでも同じ業者がパターン化してやっているのでは、それにかかるお金はどうなのか。

(佐藤子ども家庭課長) 今回のものは国を挙げての計画を策定するもので、その前

段階の市民ニーズ調査である。調査項目も標準的なものは国が示している。担当者や現場で感じたニーズではなく、きちんと冊子で調査を行う必要がある。5年に1度の調査だが、その結果が必要になると考えている。

(矢沢子育て支援部長) 今回の調査は全国一斉に行われるものである。仕事をする上で日々ニーズとして利用者、保護者に向き合っているのも、それを十分踏まえ、全国共通ということで真摯に臨んでいく。市町村独自の項目、長岡市がどうしても聞きたいポイントを押さえながらニーズ調査に臨んでいきたいという気持ちで予算計上させていただいている。

(加藤教育長) 全国に先駆け、子育て支援の充実を図っている長岡市がいまさら全国の共通項目の調査はどうか。32か所の子育て支援センターがあるので、日々通っている方々の生の意見が十分採れると思う。全国共通なので長岡市だけしない訳にはいかないが、安易にこういうものに頼り、結果に振り回され、無為な施策、地域に合わない施策にならないように気をつけてほしい。

(羽賀委員) 長岡市はいろいろなものを先取りしているのも、教育長のおっしゃるとおりであるが、全国一律となると、議会对策上、論拠が立たなくなると事業はできないので仕方がないのではないかと。

(青柳委員) 先ほど矢沢部長からニーズという言葉が出てきたが、コミセンに関するものとして日頃感じることは、児童クラブの充実が図られているなかで「ニーズ」が、本当に親が困っているものなのか、楽をするためのものかを見極めることが大切である。児童クラブの受け入れ人数は決まっているがどこでも上回っている。聞くところによると本当は自宅には祖父母がいるのに、市には内緒で共働きだと預ける方がいる。祖父母が面倒をみられるのに、市で安く援助してくれるからと頼る人もなきにしもあらずである。文句を言われるから全部受け入れるのではなく、そういうことも念頭において事業に携わっていただきたい。

(矢沢子育て支援部長) 今、青柳委員から良い意見をいただいた。子育て・家庭支援をする場合、親の子育てを肩代わりするのではなく応援していくという立場で、親、家庭の子育て力をつけるということを基本としたい。「親がやればできるけど預ければ楽」ではなく、教育委員会ならではの方法で応援していくというスタンスを大切にしたい。

(佐藤子ども家庭科長) 産前産後家庭応援事業は制度的には祖父母がいる、いないに関らず、妊娠中、産後2か月間1回500円の助成である。他市町村の家事援助ヘルパーとは違う。他市町村の制度は利用者が市役所に申し込み、市役所が妊娠、出産中大変であると認めたとときに家事援助ヘルパーを派遣するものである。長岡市のこの制度は妊娠中、産後は大変に決まっているので、本当に辛くならないうちに助産師が家庭に出向いて、親とディスカッションしながら沐浴、授乳の仕方等、家庭教育も教えている。大変になる前にやるということで他の家庭支援とは違い、妊娠、出産中誰にでも使ってもらいたいということが趣旨である。

(加藤教育長) 反対はしないが、そのようなことを十分踏まえて保護者の要望調査にあたってほしい。3回の合併を経験した長岡市だが、合併の度に新市計画という冊子を業者まかせで作っている。全国いろんなところを扱っている業者がそれを作るのが目的になってしまっている。表紙からすごいものができるが、お金がかかる。自治体の力があれば自前でできるのではないか。

(大橋委員長) 他にないようなので、次に「第2章 人材と文化をはぐくむ人間性豊かなまちの実現」の「第1節 子どもの自信と夢をはぐくみ豊かな心を育てるまち」の説明をお願いする。

(田中学校教育課長、若月教育総務課長、栗林保育課長、近藤学務課長、佐藤子ども家庭課長、安部教育施設課長) 【議案書に基づき説明】

(大橋委員長) 質疑、意見はないか。

(羽賀委員) 耐震補強について、耐震とは1回震度6弱が起きた場合を想定しているのか、2回目もまた耐えられる基準になっているのか。

(安部教育施設課長) 基本的に耐震設計というのは中規模地震、震度4から5程度で中央構造に大きな損傷を与えないよう、何度地震がきても耐えられるようになっている。それ以上の震度6強の大規模地震に対しては、管から水が噴出すかもしれないし、電灯は切れるかもしれないが、柱のような主要中央構造部は一定に傾くが崩壊はしないという設計基準になっている。基本的には何回あっても耐えられるようになっている。

(中村委員) 耐震補強の照明器具工事に山古志中学校ほか3校とあるが山古志中学校の校舎ができたのは中越地震後だが、なぜ対象になるのか。

(安部教育施設課長) 照明器具に関しては今まで明確な基準がなかった。建築基準法では主要構造部についてはしっかりしたものがあるが、非構造部は設計者・自治体判断が多い。先日、高速道路のトンネル内でも大きな事故があったが、地震に対して吊っていることが建築技術であまりしっかり捉えられてこなかった。費用対効果を意識する基準がなかったが、今回から明確になった。東日本大震災が契機である。

(中村委員) 小・中学校への図書追加整備について、文科省から各学校規定の蔵書数が決まっているようだが図書館のスペースは限られている。新しい本を入れるのは良いが古い本はどうしているのか。本を入れる本棚も一緒に考慮しているのか。

(若月教育総務課長) 予算の中には書架を購入する経費も含まれている。学校訪問で見ていただいたとおり図書館のスペースは限られているが、他にも教室や廊下に置いたりしており、その書架の分も含まれている。

(大橋委員長) 平成 24 年度予算はゼロだったのはなぜか。

(若月教育総務課長) 平成 24 年度も入れ替えのための図書購入はしていたが、それに加えて文部科学省が定める学校図書標準を全部の学校で達成するために、今後 4 年間で整備したいと考えている。

(大橋委員長) 5 年計画だったが昨年度は要求したが認められず予算ゼロ、今年度からあと 4 か年の継続という捉え方でよいか。

(若月教育総務課長) そういう意気込みで取り組みたい。

(大橋委員長) この新規 3 事業は大切なので是非よろしくお願ひしたい。

(中村委員) 司書教諭が巡回で回るようだが、図書館ボランティアという保護者のボランティアを巻き込んで一緒にやってもらおうと良いと思う。

(青柳委員) ながおか未来塾の 1 泊 2 日の宿泊研修はどこに行くのか。

(田中学校教育課長) 場所については検討中である。

(大橋委員長) 学校子どもかがやき塾の支援予算にあまり変化がない。校長裁量に関する予算のようだし、学校規模によって額が違う。長岡の 1 つの目玉になっているし、他市町村からも羨ましいと言われている。良い形で進めている学校もあれば、例年どおりの学校もある。詳細を厳しくチェックしながら検討して配分していただきたい。よろしくお願ひしたい。

(羽賀委員) ながおか未来塾に関して長岡市はこういう催しをやるとき子どもが泊まれる場所はどこかにあるのか。

(田中学校教育課長) 当たってはいるがなかなか探せない。

(羽賀委員) 何名くらい募集するのか

(田中学校教育課長) 30名前後である。

(羽賀委員) 山古志のロータリーハウスが使えるのではないかと。

(田中学校教育課長) 今回の未来塾は冬場に予定しているため、長岡地域を検討している。今後、そういうものが使えるのであれば検討したい。

(大橋委員長) ジョイフル里山木工塾の予算が38万円程度増額しているが、かなり市内で定着し広がってきているのか。

(田中学校教育課長) 各学校に定着しつつあり、要望が多いので増額した。

(大橋委員長) いいことである。

(加藤教育長) 栃尾の中野俣小学校、西谷小学校は校庭に裏山があるのに、わざわざバスに乗ってジョイフル里山木工塾で体験する必要があるのだろうか。本当に行ってもらいたい学校に配分しているのか、かがやき塾のベースとして同じように配分しているのか、軽重をつけてちゃんとしてやっているのか。手を上げたものみんな良いというのはどうか。

(大橋委員長) 他にないようなので、次に「第2節 いつでも、どこでも、だれでも学べるまち」と「第3節 豊かな歴史と多様な文化にふれあうまち」の説明をお願いします。

(武樋中央公民館長、品田中央図書館長、山屋科学博物館長)【議案書に基づき説明】

(大橋委員長) 質疑、意見はないか。

(羽賀委員) 電子図書の導入予定はあるか。

(品田中央図書館) 電子図書は欧米では古典から比較的新しいものまでであるが、日本では8割はコミックである。そもそも電子書籍でしか出版されないブログや小説もあるが、それらを除くとほとんどが学術文献である。その状況が改善されないまま導入すると漫画だらけになってしまう。中には光るものもあるのでそれを救いたいという意見もあるが、そのためにお金をかける必要があるか検討しなければならない。漫画以外は50年経った著作権が切れたもので明治期の作家の大衆小説しか

ない。あえて図書館でそういう環境を整えるかは検討中である。県の図書館長会議でも議論してはいるが、新潟市も県でも本格的に導入するのはもう少し先だと言っている。オーディオ関係ではクラシックの名曲演奏が図書館に登録してパスワードをもらって自宅で半年聴けるということを新潟県が始めた。長岡市でも現在検討している。県に導入してどのくらい利用があるかと聞いたところマスコミが報道した導入期は多かったが現在は1日5件程度だそうだ。しかもカラヤンのような一流な音楽家ではなく、著作権の失効したもの、知る人ぞ知るものなので一般にはあまり利用されない。

(青柳委員) 図書の返却ボックスを増やす予定だがどこに増やすのか。

(品田中央図書館長) アオーレ長岡に置いて欲しいという意見が非常に多い。中心部では市民センターに返却ボックスがあり、1月からは子育ての駅ちびっこ広場のまちなか絵本館にも設置予定だが、普段行くところに返却ボックスがあればいいとの意見である。新年度予算でみているが、アオーレ長岡の設計をされた建築家の隈先生に変な箱は置かないでほしい、美観にふさわしい良いものを置いてほしい、設置場所も自分が指定するというようにハードルが高いので予算を余計にみている。

(大橋委員長) 多様な学習機会の充実、とにかく中央図書館に行ってもらおうということが非常に大事である。講演会、映画会、美術展などいろいろな催し物があるのは読書普及の推進に良いし、ありがたい。

(品田中央図書館長) まず図書館に来てもらうのが第一である。しかし全国的な傾向として、図書館で本そのものの周辺の文化現象についての催しをやるが、そこに来た方が本を借りて帰るかということとそうでもない。映画、講演会をやっても今の利用者はセグメント好みが集中していて、映画を見るだけ、その作家の生の声を聞くだけで作家の本を借りるかということ意外と少ない。良いゲストを呼んでたくさん来場者があっても仕方がない。このきっかけ作り、仕掛けをもう少し工夫しなければならない。

(大橋委員長) 寺泊水族館については先般学習させてもらったので、是非何らかの形で前進する方向をご検討いただきたい。

(大橋委員長) その他に質疑、意見はないか。

[「なし」と呼ぶ者あり]

(大橋委員長) ないようなので、これより採決に移る。本件は、原案のとおり決定することに異議ないか。

[「異議なし」と呼ぶ者あり]

(大橋委員長) 異議なしと認める。よって、本件は原案のとおり決定した。

(大橋委員長) 本日の日程は終了する。次に協議報告事項に入る。報告事項として、「平成 24 年度中学生夢さがし発見塾ついて」、事務局の説明を求める。

(佐藤子ども家庭課長) 中学生夢さがし発見塾チャレンジ放送局のテレビ番組放送日のご案内、ケーブルテレビと一緒にやっている事業である。12月29日土曜日、年末だが30分番組として放映される。その後随時再放送がある。今年は3つの中学校、東中学校、南中学校、山古志中学校から参加していただき学校のプロモーションビデオを自ら作製してもらった。9月の半ばから勉強からはじめ現在まで取り組んでいる。今現在、全てが終わっておらず、12月22日土曜日、干場のNCTに中学生が集まり、学校で作ってきたプロモーションビデオ番組をその場で放映しながらキャスターが生徒にインタビューして感想振り返りの場面を収録し完結となる。それを12月29日に放送する。1月に随時再放送もあり、その後DVDをNCTから提供を受け、2月にアオーレの300インチの大型ディスプレイでも放送したいと計画している。

(大橋委員長) 質疑、意見はないか。

[「なし」と呼ぶ者あり]

(大橋委員長) ないようなので、質疑、意見なしと認める。次に「第23回長岡市馬高・三十稲場遺跡保存整備専門委員会報告について」、及び企画展「縄文土器の変遷」、企画展「ぬくもり栃尾展」について事務局の説明を求める。

(山屋科学博物館長) 11月20日に行われた第23回長岡市馬高・三十稲場遺跡保存整備専門委員会について報告する。会場は馬高縄文館、出席者は委員9名中6名であった。会議内容は平成24年度に実施した事業報告や、現在、国道8号線の交差点の所に作っているサイン工事について、平成25年度事業計画について説明した。委員の先生方からは、出前授業が多いが縄文館で行っているイベントと有機的

に結び付けて活用してほしい。史跡案内サイン看板にはローマ字標記も必要ではないか。史跡に縄文の森ということで植物を整備している最中だが、今見られなくなった日本固有の実のなる植物を植栽すれば鳥も来るし、うまくいけば人間も食べられるため、こういう植物を植栽してはどうかとの意見があった。

企画展「縄文土器の変遷」は11月17日から3月24日まで、縄文土器はみごとに時代区分ごとに土器の形が変遷している。時間の流れとそれに伴う縄文人の考え方を感じていただきたい。科学博物館で行う「ぬくもり栃尾展」は栃尾にある民族資料調査再整理を進めてきた、その発表会である。

(大橋委員長) 質疑、意見はないか。

(加藤教育長) 北秋田市の取り組みとは何か。

(山屋科学博物館長) 火焰土器グッズの開発は他市町村に公募の事例があるので参考にしてはどうかという意見があり、北秋田市に大きな縄文史跡があり、公募してどんな縄文土器に関する商品ができるかコンテストして助成している。具体的にはお菓子であったが、そういう形で補助をし、アピールしながら開発を共同でやっていくのはどうかという小林委員からの意見である。欧米の博物館の魅力のひとつはミュージアムショップである。特徴的なものが置いてあり、結果的に博物館の利活用が高まる。縄文館のグッズ開発の過程を一般の方と一緒にやり、できれば商工会議所等と結びつき全体的な発信になればよいのではないかとこのことで販売も含め来年度検討作業に入りたい。

(加藤教育長) 縄文の森の植栽植物は身近で見られなくなった種類を選ぶとのことだが、自然行動で見られなくなってしまった植物なので繰り返しても仕方ないのでは。

(山屋科学博物館長) 里山は逆に言えば自然ではなく、それ自体自然を壊している。実際の植物は分類域を奪われ、生息範囲が狭められて地域によって姿を消したものもある。縄文時代の人為的圧力のない、里山以前の形の縄文の森を再生したい。

(加藤教育長) ポスターの土器の下の数字は何か。

(山屋科学博物館長) 何年前かという数字である。

(加藤教育長) マニアしかわからないようなポスターはいかがなものか。来場してほしいかったら、単位をつける等工夫することが必要である。

(羽賀委員) 岡本太郎さんが縄文に芸術的影響を受けたとっているが、そのあたりをアピールできる可能性があったら是非お願いしたい。

(山屋科学博物館長) 岡本太郎氏は火焰土器が大好きであった。火焰土器に関する色紙が科学博物館に2枚ある。ほとんど同じだが、文字中の内容、趣が違う。岡本太郎は豪放なようだが、決してそうではなくてしっかり吟味している。今後2つある色紙を縄文館で活用していきたい。

(羽賀委員) 岡本太郎は芸術家として有名だが、かつて勉強したのは民俗学である。そういう視点を日本人はあまり知らないなので、是非お願いしたい。

(大橋委員長) 他に報告事項はないか。

(品田中央図書館長) 12月8日から1月27日まで、恒例の「第6回ながおかこども作品展」を行う。毎年エリアを変え、4、5年かけて全域の小・中学生と園児たちの絵画をローテーション形式で全て展示する取り組みである。これに各園、小・中学校の協力をいただいているが、選別を掛けて良いのだけ並べるとなると教育方針が違うというところもある。ここの学校はこういうテーマでということで全員を出展したいと声掛けしたところうまくいった。方針を変更した最初の年なので是非ご覧いただきたい。

(加藤教育長) 良いポスターである。

(大橋委員長) 他に報告事項はないか。

[「なし」と呼ぶ者あり]

(大橋委員長) 他にないようなので、これをもって協議報告事項を終了する。

(大橋委員長) これをもって本日の定例会を終了する。

会議の次第を記載し、その相違ないことを証するために署名する。

長岡市教育委員会委員長

長岡市教育委員会委員

長岡市教育委員会委員